



## 巻頭ピックアップ

## 国総研の活動の全体像

国総研では、取り組むべき主要テーマに5つを掲げ、各々のテーマについて活動の4本柱を展開しながら、様々な社会のニーズに対応していきます。

巻頭ピックアップでは、特に代表的な取り組みを紹介します。

### 取り組むべき5つの主要テーマ

#### 1. 防災・減災

- 激甚化、複合化する災害に対して、ハード・ソフト対策を総動員した防災・減災対策や復旧・復興対策の強化を推進する取り組み。

#### 2. 社会資本の維持管理

- 老朽化が進む社会資本ストックを安全に利活用し続けるために、点検・補修・更新等の効率化・高度化を目指す取り組み。

#### 3. 既存ストックの賢い利用

- 社会資本に係る様々な情報やビッグデータを活用して、既存の社会ストックの賢い利用を図る取り組み。
- 既存の社会資本ストックに新たな活用方法を見出すことにより、その利活用を促進する取り組み。

#### 4. 持続可能で活力ある国土・地域の形成

- 環境負荷や気候変動を緩和するための省エネルギー、新エネルギーへの転換を目指す取り組み。
- 自然環境と調和した社会の実現に向けた取り組み。
- 急速な少子高齢化の中で、国土マネジメントや物流の効率化、集約型都市構造への転換により、快適な暮らしを目指す取り組み。
- 市場創出、技術の海外展開推進による我が国の成長力・国際競争力の強化を目指す取り組み。

#### 5. 仕事の進め方のイノベーション

- 公共調達における品質・競争性・透明性のより一層の確保、情報通信技術（ICT）の導入、事業評価の高度化等による行政の効率化を推進する取り組み。
- 調査・設計・施工技術・手法の革新・高度化により、行政や現場の負担軽減、効率化を図る取り組み。

# 国総研の活動の「4本柱」

